

## ■ p53

p53は転写調節因子として多くのターゲット遺伝子の発現調節を行っていることが明らかにされています。これらの遺伝子は、p53の多様な生理機能に直接関与し、細胞周期をG1期あるいはG2/M期に停止させることやアポトーシスを誘導する細胞増殖抑制機能を持つことも明らかにされています。また、最も高頻度にヒト癌において変異が報告されているのが癌抑制遺伝子としてのp53です。このようにp53自身および関連因子の機能を解明することは、ヒトの発癌機構を解明する上で非常に重要です。

コード No. 10041

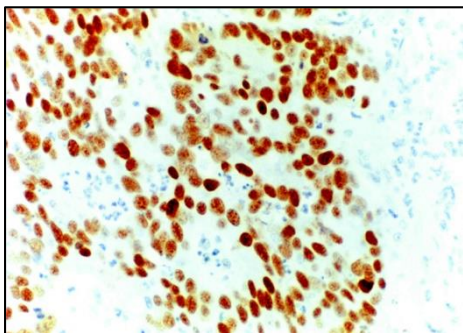
Anti-Human

p53 (Bp53-12) Mouse IgG MoAb

クローン名 : Bp53-12 サブクラス : IgG2a

容量 : 200 $\mu$ g/500 $\mu$ g 価格 : ¥ 38,000/¥ 68,000

本抗体は、野生型、変異型ヒトp53と特異的に反応します。免疫組織染色(ホルマリン固定・パラフィン切片)およびウエスタン・ブロッティングにて使用可能です。Rat, Mouseとは交差しません。



組織: 大腸癌(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片)  
染色条件: ABC法・MW処理

■ 14-3-3  $\sigma$ 

14-3-3 $\sigma$ (シグマ)はDNA損傷に伴いp53により発現が誘導され、リン酸化されたcdc25cに結合して不活性化します。その結果cdc2を活性出来なくなるため、細胞周期をG2/M期に停止させる働きを持つことが報告されています。

コード No. 18642

Anti-Human

14-3-3 $\sigma$  Protein (C) Rabbit IgG Affinity Purify

容量 : 10 $\mu$ g/100 $\mu$ g 価格 : ¥ 15,000/¥ 58,000

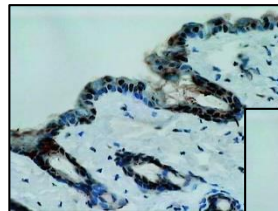
コード No. 18646

Anti-Human

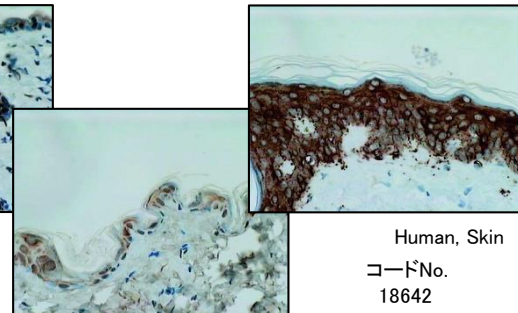
14-3-3 $\sigma$  Protein (N) Rabbit IgG Affinity Purify

容量 : 10 $\mu$ g/100 $\mu$ g 価格 : ¥ 15,000/¥ 58,000

両抗体は、14-3-3 $\sigma$ と特異的に反応し、14-3-3 $\beta$ (ベータ),  $\gamma$ (ガンマ),  $\epsilon$ (イプシロン),  $\zeta$ (ゼータ),  $\eta$ (イータ),  $\tau$ (タウ)とは反応しません。免疫沈降法・ウエスタン・ブロッティングおよび免疫組織染色(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片, マイクロウェーブ処理が必要)に使用可能です。マウス・ラットに交差性が認められます。



Balb/C Mouse, Skin



Human, Skin

コードNo.  
18642

SD Rat, Skin

## ■ Tob(transducing molecule of Erb B2)

受容体型チロシンキナーゼ Erb B2 と相互作用する新しい分子として見いだされた Tob は、約 130 アミノ酸より成るホモロジー領域を有するファミリーの1メンバーで、細胞分化や細胞周期に関与して細胞増殖を負に制御していると考えられています。

コード No. 10031

Anti-Human

Tob (4B1) Mouse IgG MoAb

クローン名 : 4B1 サブクラス : IgG2a

容量 : 10 $\mu$ g/200 $\mu$ g 価格 : ¥ 15,000/¥ 46,000

本抗体は、免疫組織染色(ホルマリン固定、パラフィン切片)およびウエスタン・ブロッティングにて使用可能です。

## ■ MDMX

MDM2 の類似タンパク質であるMDMX は、その構造がアミノ酸の1つの違いによりリング構造がうまく構築されず、ユビキチンリガーゼ活性を持たないと言われています。その機能は、MDM2 タンパク質に対してドミナイトネガティブな制御を担っていると考えられています。

コード No. 10201

Anti-Human

MDMX (77A1) Mouse IgG MoAb

クローン名 : 77A1 サブクラス : IgG1

容量 : 10 $\mu$ g/200 $\mu$ g 価格 : ¥ 15,000/¥ 48,000

Protein Aによる特異精製したモノクローナル抗体でウエスタン・ブロッティングにて使用可能です。

## 取扱い販売代理店